

医療機器事業を拡大して第3の事業の柱へ育成

会社名 東栄化学工業株式会社
 所在地 群馬県伊勢崎市香林町2丁目1284番地
 従業員 47名
 資本金 3,000万円
 売上高 非公開
 業種 自動車用・電気機器用・工業用ゴム部品および医療機器用ゴム部品・製品の製造販売



東栄化学工業株式会社

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 新規参入した医療機器分野について、顧客ニーズを取り込みながら、さらに技術を磨き、医療機器部品・製品事業を第3の事業の柱へ成長させる。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 医療機器事業戦略について、医療機関のニーズを探索し、丁寧に対応することで、ブランド力向上と関連部門・人材の育成という目標(方針)を明確にした。
- 今後の医療機器事業を担う社内の中核人材が育成され、知財経営の実施基盤が強化された。

今後の事業展開の展望

Future

- IPランドスケープ支援事業を活用し、企業との共同開発に熱心な大学・病院等の医療機関を特定する。まずは信頼関係構築のため、それらの機関のニーズを聞き取り、共同開発を提案し、取り組むことで医療機器事業の拡大を図る。

重点支援を受けた事業や商材



1960年に創業した自動車用ゴム部品など、工業用ゴム部品を開発/製造する企業。社内育成で豊かな個性をつくり、世の中の変化を敏感に捉え、独創性豊かな製品を生み出すことができる企業を目指している。新しい取り組みとして2015年に医療分野に参入して、自社製品シリコンHDRテンプレートを開発、上市している。その他、シリコンゲルシートなど他社向けの製品も製造している。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
医療機器事業の戦略構築とアクションプランの策定	医療機器事業を本格展開するにあたり、ニーズ・市場規模・競合などの事業環境を踏まえたうえで、どの分野に自社製品・他社向け製品・部品販売をどのように配置し、展開するのか、事業戦略を最初に明確にする必要がある。
メーカーとしての知財戦略を取り込んだ事業経営	現状のノウハウを含む知財資産を把握した上で、事業を有利に進めるために、それらをどのように補強し、活用するか。今後の事業拡大に向けて、知財戦略を明確にする必要がある。
医療機器事業の拡大に向けた事業体制の整備・構築	人材育成・補強を通じて、知財管理、マーケティング・販売、営業秘密管理を含む社内体制の整備・構築が必要である。共同開発や製造委託等の事業パートナーとの契約を整備できる体制の準備も不可欠となる。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
医療機器事業の戦略構築とアクションプランの策定	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの探索手法として、IPランドスケープの情報を活用して、中小企業との共同開発に熱心な大学等の医療機関を特定することができた。今後の連携先として活用する予定。 	中小企業診断士 知財戦略専門家
メーカーとしての知財戦略を取り込んだ事業経営	<ul style="list-style-type: none"> 今後の医療機関との共同開発事案に向けて、出願意識の向上も必要であり、職務発明規程の整備が急務であることを理解した。 	弁理士
医療機器事業の拡大に向けた事業体制の整備・構築	<ul style="list-style-type: none"> 今後の医療機器事業を担う社内の中核人材が育成され、知財経営の実施基盤が強化された。 秘密保持契約のひな形を作成・準備した。これを活用して、秘密保持契約及び機密情報管理に対する理解度が深められた。 	中小企業診断士 弁護士

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 中澤俊彦
 活用専門家: 知財戦略専門家、弁護士、弁理士、中小企業診断士
 知財総合支援窓口担当者: 群馬県知財総合支援窓口 飛田雅之
 PO(プログラムオフィサー): 中山和彦、長尾尚訓